

着

mono 通信

yorodaya

2019・9 vol.13



原町本店
〒975-0026
南相馬市原町区栄町2-83
TEL:0244-24-2929

郡山店
〒963-8035
郡山市希望ヶ丘12-3
TEL:024-952-6440



いわき店
〒973-8402
いわき市内郷御殿町1-137
TEL:0246-85-5298

みなさまこんにちは！9月になりました！いよいよ秋の着物シーズンの到来です。9月は私の大好きな秋単衣の季節ですが、まだまだ暑い日もありますね。そんな時は、長襦袢だけでも涼しくしたいので、私は9月中は単衣の長襦袢を着ます。綿ではなく紋紗の物ですが、衿は白の塩瀬にしますので、秋単衣らしい装いになります。帯や小物は秋冬ものになりますので、落ち着いた深みのある色合いの帯締めなどを合わせれば、秋らしい雰囲気。単衣の着物でも、小物や色合わせで秋の着物生活を楽しんでみましょうね！



浴衣で納涼パーティー開催しました！

8月17日(土)に原町本店主催で2回目となる「浴衣で納涼パーティー」を開催しました！今回は『本町バルDELISH LABO』にて美味しいお料理と楽しいおしゃべりで盛り上がりました。参加された皆様は、それぞれにお気に入りの浴衣で、どなたも大変素敵な装いでした。今回は男性の参加者も増え、また20代の参加者もあり、20代から80代までの幅広い年齢層で交流を深めることができました。恒例のビンゴゲームも盛り上がりましたが、この少ない人数でなかなかビンゴになる方がいなくて、時間がかかってしまいました～。それに、ビンゴの玉に書いてある数字が小さすぎて、若女将の眼力を持っても読めずという、なんとも面白おかしいビンゴでした(笑)

本町バルさんは何を食べても美味しく、大好きなお店なので、今回ご協力頂けて良かったです。

今回参加できなかった方も、また来年企画しますので、ぜひ参加して頂きたいです！！

今年の浴衣もいっぱい汗を吸いました～。



帯揚げ・帯締めコーディネート会開催！



原町本店において、京都の和装小物専門ブランド「衿秀」の協力で、9月12日(木)～15日(日)までの4日間限定で、帯締め・帯揚げなどを多数取り揃えることとなりました。

そこで是非、コーディネートでお悩みの方や、ワンランク上の上質な小物を揃えたい方などに「衿秀」の素敵な商品をご紹介します。

お手持のお着物や帯などをご持参ください！全力でコーディネートのご提案をいたします！

秋の着物生活応援フェア

9月12日(木)～15日(日)

和装館 よろづ屋 原町本店



<yoroduya コーディネート～裂き織の帯～>

最後まで大切に使う…
江戸時代からの伝統技術『裂き織』



着なくなってしまったおばあちゃんの着物、お母さんから譲り受けた晴れ着の着物、思い出の深い大切な着物など、裂き織の技術で帯によみがえらせます。

右の写真は、ベージュの紬の着物を裂いて、糸状にし緯糸に織り込みます。経糸に黒を使い、全体にこげ茶色に。渋めの風合いがすてきです。

9月12日(木)～15日(日)まで、原町本店にてサンプルの帯を実際にご覧いただけます!!



写真左の帯は、夏の紹の小紋に、経糸は白を使い、全体的に優しい色合いの帯に変わりました。お着物に柄が入っていても、無地の物でもなんでも可能です。一つ一つ丁寧に織り上げていきます。着物一枚、もしくは羽織一枚で、八寸帯が完成します。



こちらは、グリーンの色無地に、経糸を縞柄になるよう織り込んだ帯です。

縞柄も粋な感じで素敵ですね。

黒の喪服や留袖などを加工する方や、二、三枚のお着物を組み合わせて仕立てる方もいらっしゃいます。

キモノ Q&A

帯編

Q:染め名古屋帯はカジュアルな帯ですか?

A:柄の雰囲気によります

染め帯は織の帯よりもやわらかい雰囲気を出してくれます。吉祥文様など格調のある柄や金、銀、箔や刺繍が華やかにほどこされている場合は、準礼装向きになり、カジュアルには向きません。

染の帯は遊び心のある柄が豊富なので、パーティーの目的に合う柄を締めれば場も華やきます。

クリスマスパーティーにサンタクロース、お正月に玩具尽くしなどを合わせると素敵です。

参考文献:着物の辞典 大久保信子監修



今月のおススメ商品!

山田松香木 防虫香(極上)
1,800円(税別)

今回おススメする商品は、衣替えのこの時期にぴったりな、防虫香です。京都の老舗お香メーカー『山田松香木』のロングセラー商品です。

大切なお着物は、天然の染料や自然の恵みから作られたものが多く、またシルクはアミノ酸を含んだたんぱく質繊維で人間の肌の成分に大変近いものです。こちらの防虫香は、白檀を主体に防虫効果のある天然香料を配合、調整し、深みのある香りになっております。薬品を使った防虫剤は、着物の変色などを招く場合もありますので、大切なお着物は天然香料のものをおススメします。

もちろんお洋服や、書画や人形などにも使用できますので、幅広く活用することができます。

…若女将のつぶやき…

暑い…暑い… 前回の通信では、『7月は涼しかった～』などと余裕の発言してから～の8月を過ごしましたが、もう暑いなのって、着物の中は湿度100%でございました(笑)

あせも対策にと巻いたタオルも、絞れるのでは?というくらいに汗でぐっしょりになりました。

暑いのであまり重ね着はしたくないのですが、大切なお着物を汗ジミから守るには、やはり肌着が大事です。きちんと汗を吸ってくれるガーゼや綿素材の肌に優しい肌着がいいですね。

さて、9月の秋単衣の季節になりますが、暑くないといいですね。「着心地は夏、気持ちは秋」で着こなします!